

入間ロータリークラブ Weekly Report

2026-2027 RI 会長:オイカ・ハム・ババワ 2570 地区ガバナー:原島 生慈 会長:繁田 光 幹事:新井 格

ガバナー公式訪問 7号 3454例会 2026年 8月 27日

議事次第 当番:菅野 茂実 会員

・お客様紹介 原島 生慈 様、大河内 隆敏 様、
若林 俊明 様、町田 章夫 様、黒沢 克久 様
ゴ・チ・ヒエン 君

・ロータリー美術館

・会長の時間

・幹事報告、委員長報告

・卓話 2570 地区ガバナー 原島 生慈 様

<ビジター・ゲスト>

2570 地区 ガバナー

原島 生慈 様

2570 地区 第3グループガバナー補佐

大河内 隆敏 様

秩父 RC 会長

若林 俊明 様

秩父 RC

町田 章夫 様

秩父 RC

黒沢 克久 様

ロータリーファミリー

ゴ・チ・ヒエン 君



・入間南 RC 会報 (8/2、8/4 例会)

・例会出欠表 (9/3・10・17)

・プログラム表 (8~10月)



<幹事報告>

・2026~27 年地区補助金 12 万円承認

「ひとり親世帯の子供たちへ食べ物を贈る」
(クリスマスプレゼント)

・9/1(火):日高 RC 水村パストガバナー卓話

・9/5(土):社会奉仕セミナー 入間市長講演

・9/29(火):日高 RC 吉田小雪さん(R 財団
奨学候補生)卓話

・11/1(日):地区ポリグラー 日本スリーデーマーチ 10km

<出席>

34 名 (39 名中) 94%



若林様



町田様



黒沢様



ヒン君

<ニコニコ BOX>

ニコニコ:24,000 円

お祝い:0 円 累計 157,000 円

・本日はよろしくお願ひします。

(秩父 RC 若林様、町田様、黒沢様)

・原島ガバナー、大河内ガバナー補佐、若林様、
町田様、黒沢様、ようこそ入間 RC へ。

(繁田、新井、間野、菅野、一柳、後藤、駒形、
齊藤、滝沢、津藤、友野、豊田、忽滑谷、
晝間、細淵、馬路、水村、宮寺)

<回覧・配布物>

配布物

・入間 RC 満足度アンケート

・会報 (8/20 例会)

回覧

・8/26 フードバンクいるま寄付金領収書

・9/5 社会奉仕セミナー案内

・10/15 旧軽井沢ゴルフクラブ案内

・11/1 2570 地区ポリグラー案内

🌸会長の時間🌸

繁田 光 会長



本日は国際ロータリー第 2570 地区
ガバナー、原島生慈様をお迎えしての
ガバナー公式訪問例会でございます。原島ガバナ
ー、あらためまして、ようこそ入間ロータリーへ。
また、秩父 RC の若林さま、黒澤さま、町田さま
におかれましても、遠いところまでご足労いただ
き、誠にありがとうございます。そして、第 3 グ
ループ西のガバナー補佐である、大河内隆敏様、
先週のガバナー補佐訪問に引き続き、入間 RC へ
お越しいただき、誠にありがとうございます。

本日のガバナー公式訪問では、懇談会と食事の
後、原島ガバナーにはロータリー美術館を鑑賞し
て頂きました。これは入間 RC の伝統の行事で、
ガバナー公式訪問と、新年に入間市長をお招きし
て年頭所感を卓話していただく例会で、会員有志

が所蔵する美術品を持ち寄り、展示鑑賞して頂いております。

年度計画書をご覧いただくと記載されておりますが、ロータリー美術館委員会が設置されており、館長と館員という名称で、委員長と委員も選出されている、入間ロータリー公式の委員会組織であります。今年度はガバナー補佐を務められた細淵克則会員に館長を務めて頂いており、今回の展示鑑賞だけでなく、ロータリーの旅行の際も美術館や博物館に寄って鑑賞する計画も立案して頂いております。

また、先ほど開会点鐘の後に唱和していただいた、「入間路に朝が来る」という歌も、入間 RC 独自のロータリーソングで、これは、2023 年にガバナー補佐を務められた齋藤栄作会員のお父様で、1985 年に分区代理を務められた齋藤金作会員の作詞でつくられた歌であります。

今日は歌唱しませんでした。3 番の冒頭の歌詞には、「秩父嶺（ちちぶね）に陽が沈み 入間路に星が降る」とあり、ここ入間に住んでいる人たちは、秩父の山々を見て季節を感じていますし、明治時代の秩父の養蚕業と入間の製糸業の関係等、古くからの秩父と入間の、経済や文化の密接な関係性も歌詞に表わしていると思います。

このように、私たち入間 RC は、私で 68 代の会長ですので、これまで 67 年におよぶ長い歴史の中で育まれた、独自の伝統を大切に守っているクラブであることを、原島ガバナーにはご理解いただきたいと願っております。

さて、7 月の例会の私の会長の所信表明でもお話ししましたが、今年度の国際ロータリー第 2570 地区の活動方針は「ロータリー活動に誇りを！」です。詳しい具体的な内容は、この後の原島ガバナーの卓話でお話頂けるとおもいますが、その中の社会奉仕委員会の活動方針に、今年度は「子供の貧困」を重点課題とすると記されております。

入間 RC が活動区域と定義しているこの入間市は、当クラブの名誉会員である、杉島理一郎市長が重点項目として「ヤングケアラー」対策を掲げています。このヤングケアラーに関する問題は、地区が掲げる子供の貧困と直結していて、9 月 5 日に開催される地区の社会奉仕セミナーで、杉島市長自ら登壇して「ヤングケアラー」に対する入間市の取り組みについて、お話をさせていただく事になっております。入間 RC の今年度の活動においても、ロータリー財団地区補助金を活用した、フードバンクいるまと連携してのクリスマスチャリティ事業や、教育委員会を通じての、市内の小中学校への教育資材の寄贈で、地区の掲げる「子供の貧困」の課題解決へ向けての活動を行っております。また、繁田醤油株式会社においても、子供の居場所作り事業として、先ほどガバナーと懇談させていただいた子ども図書館の「くら図書」、入会 5 年未満の会員と食事をした場所では、「蔵の自習室」を開設し、自宅での読書や学習が困難な子供達に、読書や学習の機会の場所を提供

していると共に、月に 1 回程度ですが、子ども食堂の場所としても提供し、「子供の貧困」の重点課題の解決に向けて、微力ながら努力させていただいております。

ロータリークラブには、他の奉仕団体、ボランティア団体とは違う、「入りて（はいりて）学び、出でて（いでて）奉仕せよ」という行動指針があり「例会や活動の場に入って知識や親睦を深め、一歩外の社会や家庭・職場に出てから、そこで奉仕の実践をなささい」という意味を持っています。ロータリークラブの行う様々な奉仕活動に積極的に参加することは大切ですが、そこで得た知識や交流の中から、会員各自で奉仕活動をしてみましょうという行動指針で、これは他の団体には無いロータリー独自の精神になります。

ロータリーの例会や会員の皆様との親睦の中で学んで、自分にできる社会奉仕を実現するにはどうするか考え、社会に奉仕する事業を会社でやる意義を話し合い、通常業務の負担にならずに実現可能な奉仕活動を模索し、地域の PTA や、入間市独自の「地域交流会」、これは齋藤栄作会員がロータリーや青年会議所を中心に、教育委員会や各種ボランティア団体等を巻き込んで立ち上げた組織ですが、そのような場で出会った人たちとの交流の中で、地域で必要とされる事業を選択し、それを実行するボランティアの人たちと出会って、子ども図書館や自習室、子ども食堂の実現に至りました。このような活動を、自分の会社の社員や、業務で知り合った人達だけでやると、かなりの負担が生じ、持続性に問題が生じる可能性が非常に高いですが、ロータリーに参加し、会員同士の親睦や、ロータリーの活動を通じて出会った地域の人たちとの交流の中で、課題解決の方法と目標を共有する方々と連携すれば、様々な社会奉仕活動が、業務への負担を最小限に実行できるところに、ロータリークラブに入会した意義があるのではないかと考えております。

ロータリークラブが行う奉仕活動のアピールだけでなく、会員各自が行う社会奉仕活動が世の中に認知される事で、ロータリーの会員になる意義が理解され、それを会員増強に繋げるとこで、原島ガバナーの掲げる「認知への誇り」「仲間への誇り」を具体化できるよう、会員各自が努力していただく事をお願い申し上げて、本日の会長の時間を終わらせていただきます。

🌸 委員長報告 🌸

公共イメージ：滝沢委員長

先日、ネパールで大洪水がありまして、私がカウンセラーをした米山奨学生のリラ君（2020～22 年 ネパール出身）に連絡を取りました。

リラ君は日本にいますが、ご実家の方は大丈夫ですかと連絡したところ、無事だとのことでした。



プログラム：後藤委員長

9月3日の例会に、大宮 RC 会長エレクト、パレスホテル取締役の小坂様に来ていただいて、大宮 RC70 周年の話やパレスホテルの話をさせていただきますので、ぜひ皆さんのご参加をよろしくお願いいたします。



卓話

2570 地区 ガバナー 原島 生慈 様



皆様こんにちは。
今日は歓待していただきまして本当にありがとうございました。

ガバナー公式訪問で緊張するクラブが 2 つありまして、1 つは川越 RC、もう 1 つは入間 RC です。なぜかという、水村パストガバナーにはいろいろお世話になり、地区の委員会でお世話になった方もたくさんいて、齋藤栄作さんとはガバナー補佐同期なので、緊張しています。

今、日本では災害がたくさんあり、亡くなられた方もいらっしゃいます。お悔やみとお見舞いを申し上げます。

2720 地区、熊本の延岡ガバナーから、思っよりもひどい状況なので、何とか協力いただけないかというメールが全国のガバナーにきました。この 2570 地区では各クラブに支援金をいただければということで各クラブにお願いしました。200 万円ぐらいは送れるかなと思っております。

◎自己紹介

1960 年（昭和 35）1 月 11 日生まれ。水村さんと一緒です。なおかつ大学も一緒です。2013-14 年クラブ幹事、2018-19 年クラブ会長。地区では、2021-22 年公共イメージ委員長、2023-24 年第 4 グループガバナー補佐。

秩父 RC は例会場が秩父神社です。今の宮司が会員でもあり、神社をお借りしています。

秩父神社には三猿がありまして、東照宮と同じ左甚五郎作です。秩父神社の三猿は「よく見て、よく聞いて、よく話す」。それから「北辰の梟」と言う知恵の神様。これをモチーフにして地区バッジを作らせてもらいました。

ガバナーになるために、10 日間ほどアメリカに研修に行くのですが、調子が悪くてご飯が食べられなくて、帰ってきて検査をしたら、食道がんでした。6 月 11 日に食道を全摘出して、29 日に退院してから 1 か月ちょっとしか経っていないのですが、声は何とか出せているのですが体重が戻らないので、あまり無理しないようにしています。

◎ババロラ会長、ロータリーの変革期

この研修ときに、ババロラ会長が「変革は戦略から始まるのではない、自分自身の中から始まる」と。

アフリカに RI 会長が行ったのは初めてです。今、アフリカ、インド、この辺は経済発展もすごいですし、ロータリアンの数もどんどん増えています。逆に、欧米諸国、日本も含めて先進諸国と言われたところは数が減っています。これは、経済的な観点も大きいでしょうが、それだけではない。ロータリーの変革期が来ているような気がします。昔ながらのロータリーを守ろうとして、変えなければいけない部分まで残そうとするので、それについてこない若い世代がロータリーに入っていない。これが先進国で起こっているように感じます。

RI 会長のメッセージが「Create Lasting Impact」。一時的な変化ではなく、地域社会、世界、そして私たち自身の中で持続可能な良い変化を起こし続けること。ビジョンを現実にするため、内なる変化を解き放つことが求められています。年度計画書にある繁田会長のメッセージで、私の言おうとしていることをうまくまとめてもらっています。「その成果を未来に残る価値へと昇華させ、その到達したところが、社会に対する Impact である」。

強調しているのが、持続可能です。持続しないとだめなんだと。

ロータリーの活動そのものが、花火みたいに美しいものを打ち上げてよかったね、こういうのはもうだめだと。これが、どれだけインパクトをもたらして持続できるかということ。入間 RC の子供の貧困への支援にもつながると思います。どんなに大きいお金が集まっても、寄付なり奉仕をしてそれで終わりではまったく意味がない。細くでもいいから長く続けていかないと貧困の問題が解決するとは思えない。

ただ、ロータリーは単年度制で、ババロラ会長も繁田会長も私もこの年度で終わりで、そんなにたくさんのことを 1 年でできるとは思えないので、重点項目としてこれだけはやろうと。引き継げるものは引き継ぎながら、だんだん変化していこうということを考えています。

◎RI4 つの優先事項、「1. ポリオ根絶」

RI 会長の優先事項が 4 つ。「1. ポリオ根絶」「2. 平和の推進」「3. クラブの活性化」「4. 確かな奉仕」

これを言うと、強烈な反応が来ます。ポリオ根絶って何よ？と。ポリオって小児まひのことですが、僕たちにとっては遠いんですね。今、日本にはないから。でも RI 会長は真っ先に言います。これは、私なりに理解できました。

日本のガバナー研修の中であったんですが、日本のポリオのこと、白黒の画像で流れてきました。昭和 40 年のことです。私が昭和 35 年生まれですから、5 歳のときです。若いお母さんが自分の子供を抱えて病院に駆け込んでいる。足が動かなくなっている。で、先生とやり取りをして、先生から小児まひだと、これは治らないよと言われる。

お母さんが涙ながらに何とかしてくれないかと言うが、どうすることもできない。

私は昭和 35 年生まれですが、私の周りにもいました。小児まひの子が同級生で。そうやって思うと、そんなに遠いことではないんです。今の若い方は知らないかもしれませんが、今でもご存命の方はたくさんいらっしゃると思います。これを無くしたのがロータリーなんです。それをロータリーは本気になってずっと続けて、あと 2 か国というところまでできています。

地区大会で、尾身茂先生に講演していただきましたが、ポリオは自然株があるので菌を無くすことは不可能ですが、発症率ゼロは可能だそうです。ワクチンを打てば発症はゼロにできると。これをロータリーとしてはなんとしてもやりたいということです。

◎「2. 平和の推進」

たぶん、しばらく力が入ってくるところだと思います。

世界で 8 か国しかない平和センターが、三鷹の国際基督教大学の中にあり、ロータリーがそこに寄付をして平和の推進をするにはどうしたらいいかということを実際に研究している若者を育成しています。ロータリーは政治団体ではありませんし、国を動かすほどの大きな力があるわけではないですが、草の根運動的なものが世界中に張り巡らされています。

◎「3. クラブの活性化」

多様な人々が歓迎される暖かい場所としてのクラブ作り、数よりも長期的、持続的な変化を重視する。入会から間もない方に聞いても、辞めたいと思った人がいなかった。よっぽど居心地が良いんだと思います。楽しいですよと言った会員の方もありました。やはりクラブが活性化しないと発展も変化もしていかないのかなと思います。

◎「4. 確かな奉仕」

まさに入間 RC のすごいところで、多方面に渡って奉仕活動をされています。地域になくてはならない存在となるために、私の年度ではスローガンとして「ロータリー活動に誇りを」としました。

アメリカ研修に行って、世界中のガバナーが来て、熱く語るんです。ロータリー活動をしていることが、彼らの誇りなんです。プロジェクトの大小ではなくて全ての活動が、身になること、誇りに思えることだと思っています。

◎2570 地区 4 つの活動方針、「魅力あるクラブ」

4 つの活動方針「魅力あるクラブの進化」「ロータリーブランドの確立」「ポリオ根絶ラストスパート」「次世代育成と絆」

退会したくない居心地の良いクラブの追求、DEI (多様性・公平性・包括性) を推進し若いプロフェッショナルを引き付ける運営へとアップグレードします。

魅力のあるクラブ運営というのは、突き詰めると大変で、公式訪問で回っているといろんな意見が出てきます。例えば、クラブ内にジェネレーションギャップがあると。それは当然なんです、DEI の精神を皆さんが持っていただかないとクラブは活性化しないだろうと思います。

◎「ロータリーブランドの確立」

地域に不可欠な団体になる。これはどのクラブに行っても結構なっていると思います。行政とのつながりもありますが、活動が無駄になっていない、地域に根差していることの表れだと思います。

◎「ポリオ根絶ラストスパート」

ポリオの根絶活動については、これ以上何かを積極的にやってくれというお願いよりも、ロータリーが活動していること、世界中でこれを本気になってやっているということを理解していただければ十分です。

◎「次世代育成と絆」

若い世代の裾野の広がりがなければ、その組織は衰退していきます。若い世代を育成するからこそ、だんだん栄えていく。次世代の育成は力をつけていかなくてはいけない部分だと思います。

◎ 9 グループ制、IM の中止

なぜ 9 グループにしたのか。なんでそんなに細かく分けてしまったのかと批判もいただきましたが、理由はガバナー補佐の方のクラブに寄り添う頻度をもっと上げたかったからです。会長、幹事が相談するところが、クラブ内だけでなくガバナー補佐にもできるようにと。

また、物価高でクラブも運営が大変だということで、IM を無くしてその分のお金を他の活動に回した方が有益なのではないかと考えて、IM はやらなくてもいいとしました。

最後に、ロータリーの奉仕は自己犠牲ではなく、巡り巡って自分自身の喜びや成長として帰ってくる、究極の自己投資なんです。こういう風に思ってもらいたい。特に入会から間もない人には思ってもらいたいと思います。



発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788

■Email : irumarc@outlook.jp

■例会場：繁田醤油(株) 西山荘

■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：長谷川尚義

